

はじめに

「食」は命の源で、私たちが生きていく上で欠かすことのできない大事なものであり、心身ともに健康で心豊かな生活をしていく上での礎となります。

いま、私たちの食生活をめぐる環境が大きく変化しています。毎日の食卓をかざる食品の多くは海外からの輸入品に依存しており、伝統的な食文化は衰退し、食の安全に対する不安などの様々な問題が指摘されています。

また、大人だけではなく、子どもにおいても、朝食の欠食をはじめとする不規則な食事などによる肥満や生活習慣病が増加しております。

国では、食をとりまく様々な状況を改善するために、平成17年7月に「食育基本法」を施行するとともに、「食育推進基本計画」を平成18年3月に策定し、国民運動として取り組んでいます。

本市では、安全・安心で、あたたかい手作りの給食を子どもたちに味わってほしいとの願いから、全小・中・特別支援学校で自校方式により、全国的にも誇れる給食を提供しております。本年1月からは、子どもたちに、炊きたてのおいしいご飯を提供するため、モデル校7校で米飯の自校炊飯の取り組みを開始し、今後、全校での実施を目指していきます。

また、本市には自然が多く残っており、特に北部の西谷地区には、自然豊かな農村風景が広がり、野菜やお米が作られています。私たちは、これらの自然の恵みをいただきながら生きているのですから、自然に対する感謝の気持ちを持つことが大切なことではないでしょうか。

私たち一人ひとりが「食」に関する正しい知識や適切な判断力を身につけ、生涯健康で豊かな人間性を育めるように、宝塚の恵まれた自然を活かし、食育を総合的、体系的に全市的な取り組みとして推進するための指針となる「たからづか食育推進計画」を策定しました。

この計画では、「次世代へつなごう！ 正しい食習慣のバトン！」をスローガンに、行政、学校園、保育所（園）、職場、地域団体、事業者、生産者、関係機関・団体が連携、協力し食育推進計画を積極的に推進してまいります。

最後に、この計画の策定にあたり、熱心なご審議をいただきました「宝塚市食育推進会議」の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様にお礼を申し上げますとともに、本計画の推進にあたりまして、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成23年（2011年）3月

宝塚市長 中川 智子

